

## ～いま、絶対にやるべきもう1つのこと～ 社内コミュニケーションのWEB化 & 仲間の結束強化

グローバルアミューズメント株式会社  
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。  
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。

2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の  
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして  
突出した存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に  
特化した、コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。  
現在、ホール&メーカー双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹  
です。さて本日は“この時期だからこそ、取り組んで頂きたいこと”として、「社内コミュ  
ニケーションのWEB化&仲間の結束強化」という話をお伝えさせていただきます。特に、  
中間管理職の皆様は、いま、やるべきこととして、優先度高く考えて頂きたいテーマ  
です。よろしくお願ひ申し上げます。

### ■人と人との関係性は“やりとりの頻度×質”で決まる。 対面コミュニケーションが制限される中、どう対応するか？

店長以上で営業会議など会社の主要会議に出席する方々は、否応無しにこの  
変化に対応していくと思いますが、本部&店長の繋がり以上に、「店長⇔主任⇔一般  
社員⇔アルバイト&パート」の“現場の結束強化”において、コミュニケーションのWEB  
化を進め“やりとりの頻度×質”を高めて頂きたいと思います。会社が崩壊する時は、  
内部崩壊から始まりますので、休業される社員が多く、コミュニケーションが希薄に  
なることに非常に危険性を感じます。パチンコ業界の社員の多くは「長期の休み慣れ」  
をしておらず、休みが続くと不安を感じる人が多いようです。

店長は、現場の不安軽減の以下に取り組んで頂きたいと考えます。

### ①店長はグループLINEで現場スタッフ全員と 常時、繋がった状態を作ってください。

“やりとりの頻度”が低下すると間違いなく人の心は離れます。店長は社員・現場  
スタッフと毎日やりとりをしてください。休業中なら尚更です。「コロナ対策による  
体調報告用」などの理由付けで良いです。毎日、店長や主任が「本日の健康状態」  
をLINEに挙げるだけでも良いです。一方的なコミュニケーションでも存在を目にする  
だけで心の距離は近くなります。

### ②休業店舗は週1、ZOOMで “顔を合わせて元気確認”をしてください。

休業店舗は、週1回、15分で良いので店舗社員・スタッフ全員で“顔を合わせた  
元気確認”を行うことを強くおススメします。自粛要請は長期になる可能性もあります。  
早い段階で、週一、顔を合わせるだけで心の距離は全く異なります。ぜひ、実践して  
みてください。スマホがあれば可能ですので、明日からでもできると思います。

### ③特に、休業店舗は“全員で共有できる取組み” を何か設定してください。

特に、休業店舗はコミュニケーションの質を上げるために“全員で共有できる  
取組み”を設定することをおススメします。

「休業中全員でダイエットなど健康強化に取り組む」、「交代におススメ映画を  
全員に伝え、全員同じモノを観る」、「全員、おススメの本を読む」、  
「全員、“どうぶつの森”をやる」など、休業中だからこそ“共有体験の設定”が重要に  
なります。仕事の話に関わらず、共有体験の数を増やすことは仲間としての結束強化  
に繋がります。現場スタッフを大事に思う店長はぜひ実践してみてください。

今後、中間管理職のマネジメント力に多分に影響を与える話だと思います。本日の  
記事を読み共感して頂けたら、ぜひ実践してください。

本日も最後までお読み頂きありがとうございました。

【本会員の皆様】5月機械評価勉強会は『ZOOM』で行います。会社許可が必要の方はお早目に申請等を進めておいてください。